

令和4(2022)年度 住まいとコミュニティづくり活動助成 活動中間報告

団体名

かもがわデルタフェスティバル^{じつこういんかい}実行委員会

活動のテーマ

多世代・多国籍な住民が暮らす京都養正学区におけるまちづくり活動

9月までに達成できた事項(箇条書き)

- ・ 未来のまちづくりミーティングの開催（6回開催 *うち5回助成対象）
- ・ かもがわデルタフェスティバル2022の開催決定と、宣伝活動
- ・ まちづくりサポーターの募集
- ・ 通信の発行
- ・ SNS等による情報の発信
- ・ 未来のまちづくりミーティング詳細のwebでの公開
- ・ (主に子供向けの) 寄り合いの場の開設／(1). ベビー&キッズ用品交換会、(2). 子ども食堂(3)スタジオぐるりによる子供アート教室

今後の活動予定と令和5年3月末時点の達成予定事項

- ・ かもがわデルタフェスティバル2022の開催
- ・ まちづくりサポーター50名の確保
- ・ 未来のまちづくりミーティング7回～9回の開催
- ・ 未来のまちづくりミーティングで出された、意見集約集の発行

団体名 かもがわデルタフェスティバル^{じっこういんかい} 実行委員会

活動のテーマ 多世代・多国籍な住民が暮らす京都養正学区におけるまちづくり活動

<活動を開始した理由・背景>

養正地区には、同和対策事業の一環で建てられた中・高層の改良住宅が立ち並ぶ団地が存在します。その住宅群が段階的に取り壊され、10年後には新たな街として生まれ変わる予定です。団地内には高齢化の問題、貧困の問題、子供やお年寄りの孤立の問題など多数の複合的な課題があります。

また、この団地の周辺部には外国籍市民も多く暮らしています。近年はその数が増えるとともに、出身地域も多様化し、外国籍市民の孤立化の問題など、新たな社会課題を抱えています。



当地域の課題の根源は住民同士の『分断』にあります。再生計画が進む団地内では過去の歴史から自治組織が消滅しており、複数の人権運動団体がそれに代わって活動していますが、団体の対立が長く続き対話は育まれてきませんでした。近年は人権団体の高齢化や弱体化により、地域課題への対応や地域活動そのものがほとんど機能しない状況となっています。また、団地内と団地周辺住民との断絶も課題です。京都では学区単位で自治会を組むことが一般的ですが、学区を同じにする団地内住民と周囲の住民との対話も育まれて来ず、自治会における各種団体が団地内ではほとんど活動していない状況が続いています。

また、近年増えている外国籍市民と以前から暮らす住民との接点がないことも問題になっています。特に防災面ではそうした方へのケアが全く行き届いていない状況です。また海外にルーツを持ち日本語がそれほど堪能ではない親を持つ子供の教育の問題や文化の違いなどによる近隣とのトラブルの問題なども顕在化しています。



当団体の前身は、『ようせい夏まつり実行委員会』です。これは地域の公共施設『左京西部いきいき市民活動センター』が呼びかけて、地域で20年ほど前まで行われていたお祭りを復活させようと、2017年から3年間実施したお祭りの運営母体です。このお祭りは地域に喜ばれ、また多様な団体に参画していただいたことで、対話のきっかけが生まれました。

(写真：盆踊りで賑わう公園の様子／2019年)

コロナによる中断を経て、地域のお祭りを持続的に実施できるよう規約などを整え、運営母体を強化したのが『かもがわデルタフェスティバル実行委員会』です。地域のお祭りを運営するのみならず、祭りを通じて対話を育み、地域のまちづくりに貢献することを目的としています。ちなみに祭りのテーマは『多文化共生』です。

(写真：楽隊の練り歩きの様子／2021年)



そんな折、団地の老朽化に伴い京都市による団地再生計画が始まりました。しかし、住民意見を集約する団体が存在しないことから、各種の住民団体を構成員に持つ当団体が呼びかけて、住民意見を集約する会を始めていくことになりました。主に団地再生に伴って生まれる跡地活用について話し合いをし、合わせて地域のまちづくりについて語り合う会です。地域課題は多く存在し、課題に対応しようとする試みも行われていますが、連携や対話がないまま有志が個別で活動している現状です。まずは対話を育むことで、連携や協力を生み、地域の活力を復活させたいと考えています。



未来の
まちづくり
ミーティ
ング

VOL.5

<9月までの活動の進捗状況>

2022年3月に『第一回未来のまちづくりミーティング』を開催。以降8月まで毎月テーマを変えて開催しています。並行して『かもがわデルタフェスティバル実行委員会』を4月以降毎月開催。10月の開催に向けて準備を進行中。『未来のまちづくりミーティング』の議事録は克明に文字を起こしたものをwebにて公開し、欠席された方も内容を把握できるよう努めるとともに、紙媒体でも制作。希望される方には郵送で配布しています。また、地域のまちづくりを支えてくれる『まちづくりサポーター』の募集を9月から始めています。



写真：未来のまちづくりミーティングの様子



今年度『かもがわデルタフェスティバル』チラシ

